

# バンテージデータセンター

統合化によりグローバルデータセンターのセキュリティを強化



名称

バンテージデータセンター

業種

データセンター

地域

グローバル

製品

Security Center, Mission Control, Omnicast, Synergis



## バンテージデータセンターは、Genetec Security Center と Mission Control の導入によりグローバルなセキュリティオペレーションを変革

バンテージデータセンター (Vantage Data Centers) は、大規模データセンターの建設および運用のリーディングカンパニーです。同社は、北米、EMEA、アジア太平洋地域において、32ヶ所のデータセンター、180万平方フィート以上、1.5GW以上のIT容量を提供しています。世界のトップクラスのハイパースケラー、クラウドプロバイダー、大企業は、そのデータセンター設計への革新的なアプローチと信頼性、効率性、持続可能性への取り組みを評価してバンテージと提携しています。

### より高度で卓越した運用への努力

バンテージのセキュリティチームは、数年前に多くの接続の遅延やメンテナンス上の問題に直面することがあり、既存のビデオ監視や入退室管理システムがもはや自社の基準に達していないことを認識しました。

ビデオ監視と入退室管理システムを別々に保有することは、ワークフロー処理をさらに遅延させました。オペレーターは、さまざまなシステムにログインし、その間をナビゲートし、ビデオ監視と入退室管理システムの情報をつなぎ合わせる必要がありました。そのセキュリティシステムにはメーカー固有の制限があり、運用改善のためのテクノロジーを追加したいスタッフの試みは拒まれました。

もはや、そうした製品やテクノロジーでは、ミッションクリティカルなニーズに対処することができないと判断し、バンテージのチームは主要なフィジカルセキュリティのアップグレードの準備を整えました。そして、自社のイノベーション精神に沿った最先端の革新的なソリューションを探し始めます。

求めていたのは、単一のセキュリティプラットフォームからさまざまなテクノロジーを管理できるオープンで柔軟なソリューションです。また、効率を高めることができる高度な機能とともに、最高レベルの信頼性と冗長性も必要としました。

こうした、必要要件のすべてを考慮したとき、Genetec™製品は、最初から際立っていました。バンテージデータセンターのセキュリティソリューションおよび標準化のグローバルディレクターである Tamim Rastkar 氏は次のように述べています。「Genetec Security Center は、堅牢でオープンなアーキテクチャプラットフォームを提供しています。これにより、高いシステム可用性と稼働時間を維持しながら、さまざまなテクノロジーを組み合わせることが可能となります。また、容易に既存のインフラを Genetec プラットフォームへ移行することができました。」

### 単一の統合化プラットフォームでグローバルデータセンターを保護

バンテージはまず、統合化されたフィジカルセキュリティプラットフォームを1拠点にインストールしました。その後すぐに、すべてのグローバルデータセンターサイトを Genetec Security Center で標準化することを決定しました。現在までに、19箇所のデータセンターに Security Center を導入しており、さらなるアップグレードが予定されています。

各拠点において、オペレーターは統合された1つのダッシュボード上でビデオ、入退室管理、インターホンを24時間監視しています。加えて、プラットフォーム内にキー管理システムと電力ソリューションを統合しました。これにより、全環境内で何が

発生しているのか、その全体像を把握でき、トリガーされたアラームや新たなインシデントの発生に対しての迅速な対応が可能となります。

「Security Center 上で、拠点ごとに約 500 台のカメラ、400 箇所のドア、2,000 名のカード保有者、数百台のインターホン、その他のセンサーを管理しています。そうしたすべての情報を集中化された単一のダッシュボード上に表示することで、オペレーターは何が起こっているのかをはるかに容易に把握できます。また、使い易く、ユーザーフレンドリーなインターフェースのため、新しいオペレーターのトレーニングを短時間で行えます」と、バンテージデータセンターのセキュリティソリューションおよび標準化のグローバルマネージャーである Firooz Barakzai 氏は説明しています。

Plan Manager、マップベースのインターフェース、カスタムダッシュボードといった内蔵機能により、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。ダッシュボードは、監視タスクをシンプルに行えるように設定されており、オペレーターはリアルタイムで拠点の状況の全体像を素早く把握できます。拠点を安全に保護するために必要なすべてのツールはオペレーターの指先にあります。

「常にシステムを最新の状態に保ち、簡単にフィジカルセキュリティプラットフォームがサイバーセキュアであることを確認できます。オペレーターは、正常動作監視ダッシュボードとセキュリティスコアウィジェットを積極的に使用しており、システムの強化が必要な未解決の問題を指摘しています」と、Barakzai 氏は述べています。

## オープンソリューションを使用して多階層セキュリティを構築

すべてのバンテージデータセンターの施設には、すでに数階層のセキュリティレイヤーが組み込まれています。これらには、ドアでのさまざまな形式での認証が含まれます。たとえば、従業員や顧客は、特定の領域に入るためにカードと暗証コードの両方を入力する必要があります。他のより高レベルのセキュリティゾーンでは、生体認証指紋リーダーによってさらに保護されており、すべて Genetec Security Center に接続されています。

特別な入室許可レベルを持つカード保有者のみに、キーキャビネットへのアクセスが割り当てられます。暗証コードを使用して、暗証で保護されたドアやキーキャビネット内にアクセスできます。さらに、すべてのユーザーアクティビティは Security Center 内で追跡され、関連するビデオにリンクされます。これは、詳細な報告のための監査証拠を提供します。イベントが発生した場合、オペレーターは証拠を迅速に評価することができます。

「キー管理システムの統合により、プロセスの最適化、短時間化、コンプライアンスが強化されました。オペレーターは、キー管理システムで暗証コードを割り当てたり、権限を削除したりする責任から解放されました。それらはすべて、Security Center 内のカード保有者プロファイルに基づいて自動的に管理されます。」と、Rastkar 氏は述べています。

## カスタムアプリケーションの設計

バンテージでは、Genetec ソフトウェア開発キット (SDK) を使用して、各種カスタムアプリケーションも開発されています。これらのうちの 1 つは、Soft Pin プラグインを使用して、さま



ざまなシステムからデータや指標を編集して、ビジネス全体の主要業績評価指標を追跡します。また、同じプラグインにより、システム名称規則、カード保有者グループ、オペレーターのダッシュボードや全ての拠点のレポートスケジュールまで、あらゆることを標準化することができました。

「Genetec SDK は、システム統合、カスタムスクリプト、レポートの自動化や拠点全体での標準化に頻繁に活用している強力なツールです。弊社の拠点は独立して運営されていますが、システム構成と管理はすべて同じです。グローバル標準化により、ビジネス全体の効率性と一貫性のレベルが向上しています。弊社は、より高レベルのコンプライアンス、より優れたセキュリティ、そして、よりスムーズなカスタマーエクスペリエンスを備えています。」と、Barakzai 氏は述べています。

## Mission Control で新たな運用効率化を実現

すべてのシステムが Security Center へ統合されると、チームは Genetec Mission Control™ の活用方法の探索を始めました。意思決定管理システムは、差し迫った状況に迅速に対処するオペレーターを標準作業手順 (SOP) に基づいてガイドすることで支援します。また、Mission Control は、主要な企業のステークホルダーと共有するためのインシデントレポートを自動的に作成し、エクスポートすることが可能です。

「Mission Control は、運用面で多くの価値をもたらしました。内部監査のための月次レポートの作成をスケジュール化し、レポートを自動でお客様に送信しています。それらはすべて統一され、自動化されています。多くの点において、我々の期待を上回っています。」と Rastkar 氏は述べています。

Mission Control は、オペレーターが注意散漫になることを最小限に抑制します。システムは、すべてのアラームの受信をフィルタリングし、緊急事態時のみにオペレーターに警告します。その他は事前に自動処理がプログラムされており、すべてが適切に処理されるようにプロセスが組み込まれています。これによりオペレーターの心配が 1 つ減ることになります。

「Mission Control 内に 30 以上の異なる SOP を設定しています。インシデントが発生した場合、Mission Control はオペレーターに通知して、問題に対処するためのすべての手順をガイドします。もうバインダーをめくったり、それぞれの状況で何をすべきかを暗記したりする必要はありません。アラーム通知や対応手順からインシデント報告まで、すべてが自動化され、標準化されています」と、Barakzai 氏は述べています。

## 新しい可能性に常にオープン

バンテージのチームは、将来を見据えて大きな計画を立てました。まず、Security Center 内にさらにシステムを統合したいと考えています。これには、人事システム、ビデオ分析、IT チケットサービスソフトウェアが含まれます。

さらに、境界セキュリティにレイヤーを追加するために、ある場所で AutoVu™ 自動ナンバープレート認識システムをテストしています。最後に、サーバーキャビネットへのアクセスをより適切に管理するために、Cloud Link Roadrunner™ エンクロージャ管理システムに注目しています。

バンテージが計画を前進させるにつれて、Genetec との強固なパートナーシップが大きな違いを生み出しました。Genetec チームは、常にガイダンスを提供し、バンテージと協力してビジネス全体において統合化プラットフォームの価値を最大化しています。

「Genetec は、最初から素晴らしいパートナーでした。Security Center で最も評価している点は、その本質的な柔軟性です。さまざまなセンサーやシステムの統合、ユーザーエクスペリエンスのカスタマイズ、ビジネスニーズに合わせたプラットフォームの拡張といったことを実現できました。Security Center への投資から、より多くの価値を得られることを目の当たりにしています。」と、Rastkar 氏は結論付けました。

「Mission Control は、運用面で多くの価値をもたらしました。内部監査のための月次レポートの作成をスケジュール化し、レポートを自動でお客様に送信しています。それらはすべて統一され、自動化されています。多くの点において、期待を上回っています。」

